

【教職員】木津川市立小・中学校の 今後の在り方検討に関するアンケート調査 報告書

【目的】

義務教育9年間を見通し、中長期的な展望に立って、持続可能な社会の創り手として必要な資質能力を育むための良好な学習環境や、円滑な学校運営を行える教育環境に向けた検討をするにあたり、保護者・学校教職員の考えを推察するため、アンケートを行った。

【回答】

▼保護者 回答：1,905 人（回答率：26%）

市立中学校1・2年 対象：1,730 人

市立小学校 対象：5,320 人

市立幼稚園 対象： 330 人

※アンケート回答者として、園児・児童・生徒が複数おられる場合は、年長者の状況で回答を得ているため、保護者全員が回答した場合でも100%になりません。

※対象者数は2022年3月1日現在の人数です。

▼教職員（市立小中学校の常勤教職員）

市立小・中学校 回答：259 人（回答率：51%） 対象：510 人

【期間】

令和4年3月4日～3月27日

【方法】

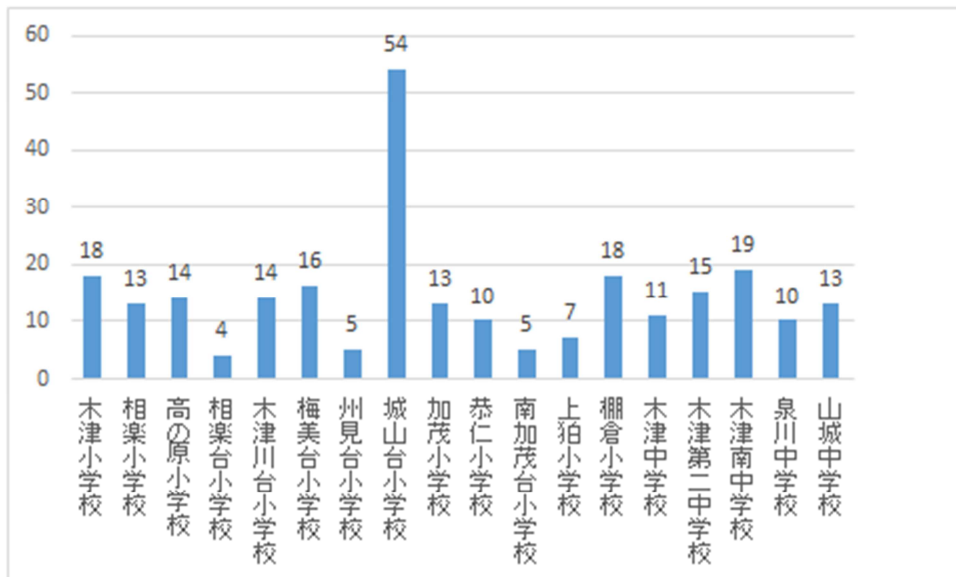
Microsoft Forms を活用したネット回答

ネット回答ができない方は、別途、紙でのアンケート回答（学校・幼稚園から配布）

問1－1

あなたの勤務しているのはどこの学校ですか。1つ選択してください。

全体で 259 件の回答がありました。



問2 どういった学校であってほしいですか？

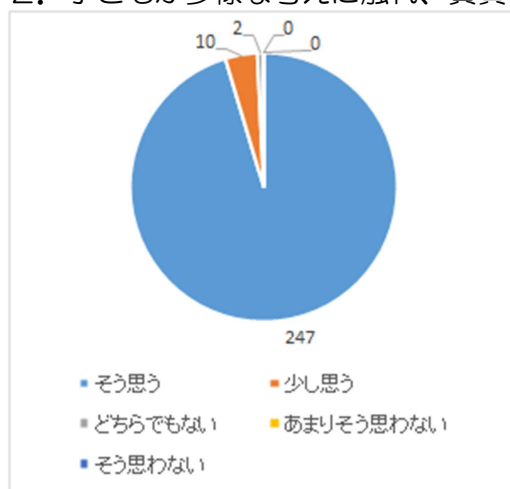
学校に求める次の項目について、あなたの考えに近いものの数字1つに○をつけてください。

1. 子どもが基礎的な学力を身につけること



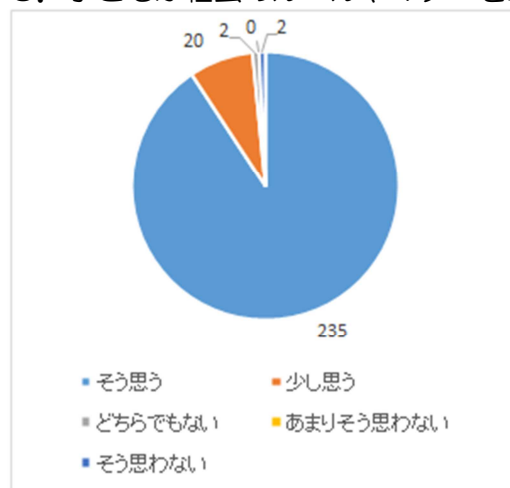
そう思う	240	93%
少し思う	16	6%
どちらでもない	3	1%
あまりそう思わない	0	0%
そう思わない	0	0%
計	259	100%

2. 子どもが多様な考えに触れ、資質や能力を伸ばすこと



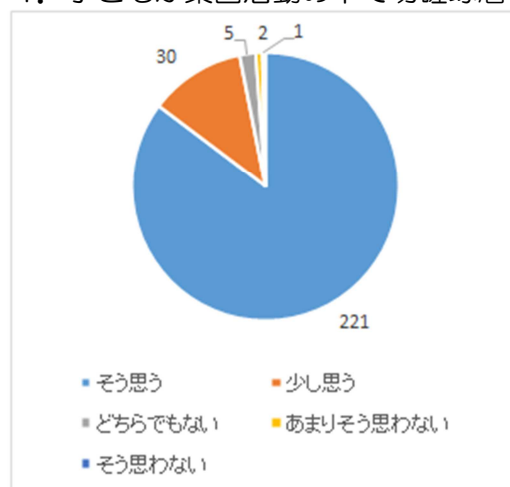
そう思う	247	95%
少し思う	10	4%
どちらでもない	2	1%
あまりそう思わない	0	0%
そう思わない	0	0%
計	259	100%

3. 子どもが社会のルールやマナーを身につけること



そう思う	235	91%
少し思う	20	8%
どちらでもない	2	1%
あまりそう思わない	0	0%
そう思わない	2	1%
計	259	100%

4. 子どもが集団活動の中で切磋琢磨できること



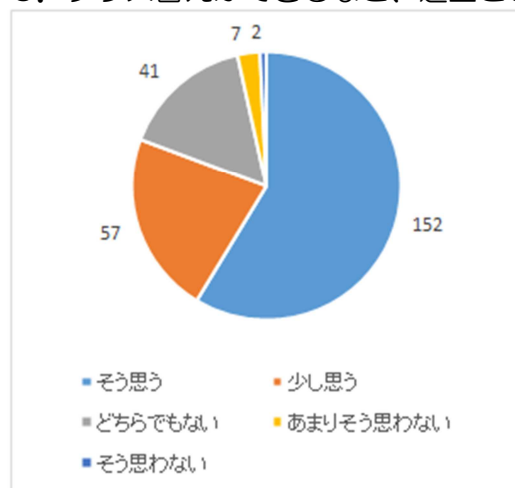
そう思う	221	85%
少し思う	30	12%
どちらでもない	5	2%
あまりそう思わない	2	1%
そう思わない	1	0%
計	259	100%

5. 子どもが人間関係を学ぶこと



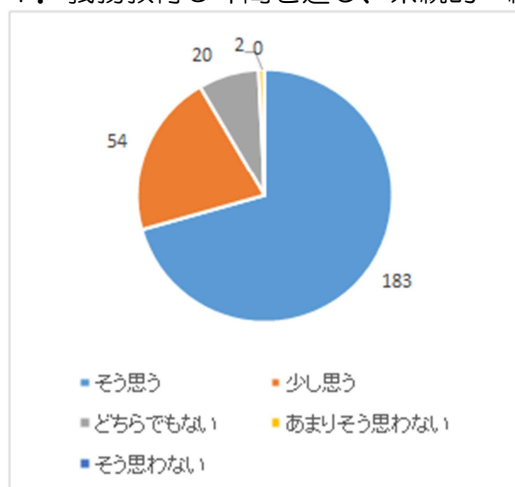
そう思う	249	96%
少し思う	8	3%
どちらでもない	1	0%
あまりそう思わない	0	0%
そう思わない	1	0%
計	259	100%

6. クラス替えができるなど、適正とされる規模を確保すること



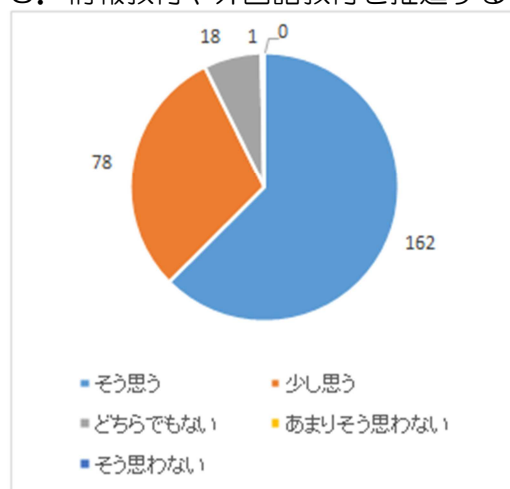
そう思う	152	59%
少し思う	57	22%
どちらでもない	41	16%
あまりそう思わない	7	3%
そう思わない	2	1%
計	259	100%

7. 義務教育9年間を通じ、系統的・継続的な学習を行うこと



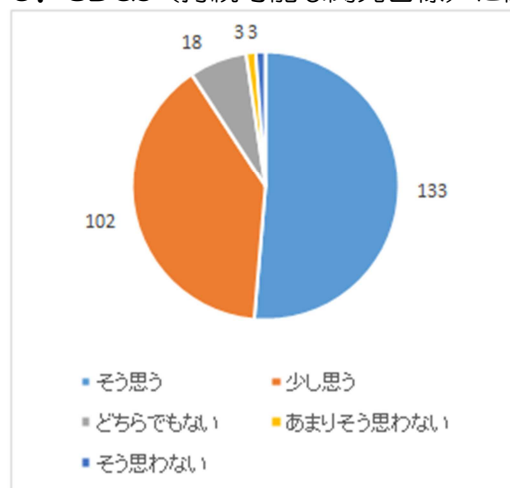
そう思う	183	71%
少し思う	54	21%
どちらでもない	20	8%
あまりそう思わない	2	1%
そう思わない	0	0%
計	259	100%

8. 情報教育や外国語教育を推進すること



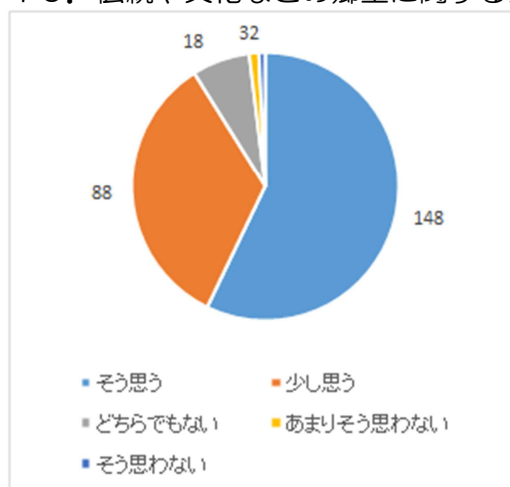
そう思う	162	63%
少し思う	78	30%
どちらでもない	18	7%
あまりそう思わない	1	0%
そう思わない	0	0%
計	259	100%

9. SDGs（持続可能な開発目標）に関する教育を行うこと



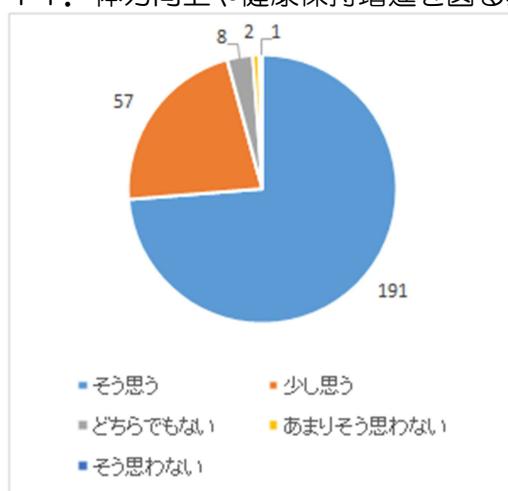
そう思う	133	51%
少し思う	102	39%
どちらでもない	18	7%
あまりそう思わない	3	1%
そう思わない	3	1%
計	259	100%

10. 伝統や文化などの郷土に関する教育を行うこと



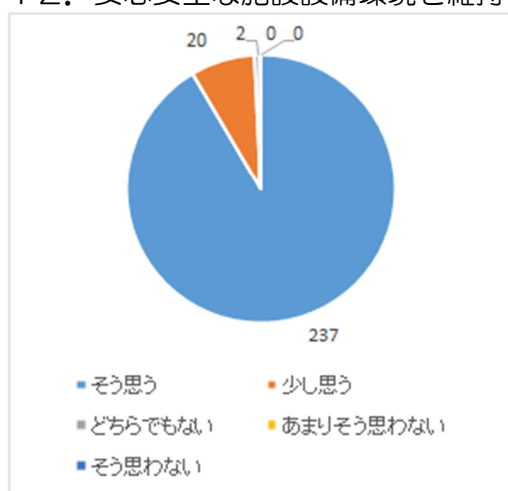
そう思う	148	57%
少し思う	88	34%
どちらでもない	18	7%
あまりそう思わない	3	1%
そう思わない	2	1%
計	259	100%

1 1. 体力向上や健康保持増進を図る教育を推進すること



そう思う	191	74%
少し思う	57	22%
どちらでもない	8	3%
あまりそう思わない	2	1%
そう思わない	1	0%
計	259	100%

1 2. 安心安全な施設設備環境を維持すること

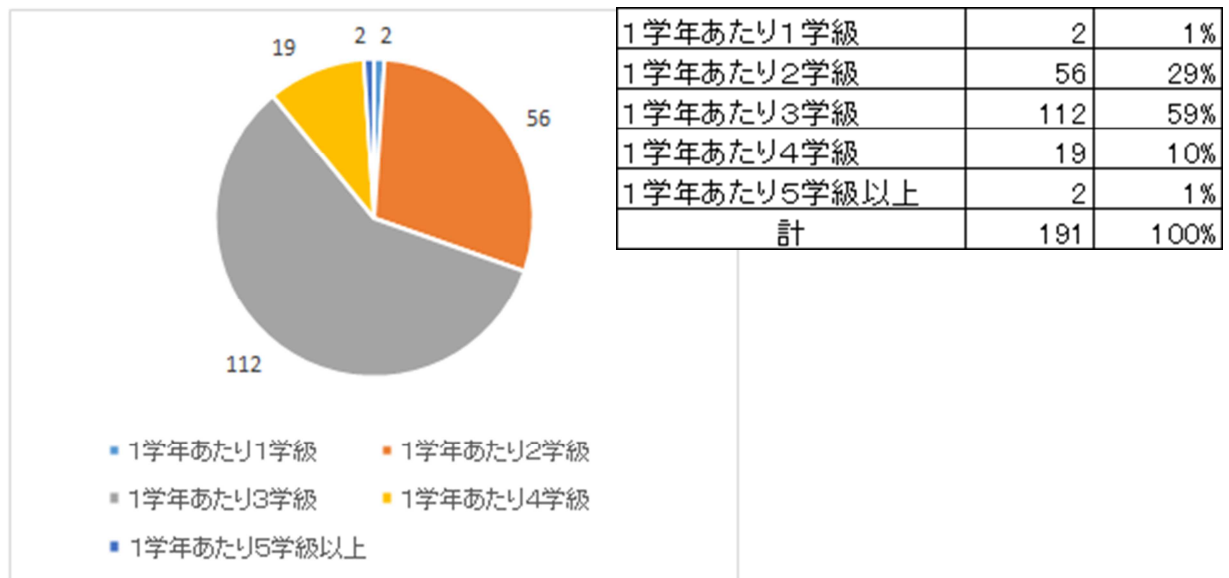


そう思う	237	92%
少し思う	20	8%
どちらでもない	2	1%
あまりそう思わない	0	0%
そう思わない	0	0%
計	259	100%

問3-1（小学校について）【小学校のみ】

小学校での学級数について、法令の標準は「1学年あたり2～3学級（1学校あたり12～18学級）」になっていますが、どの程度の学級数が望ましいと思われますか。1つ選択してください。

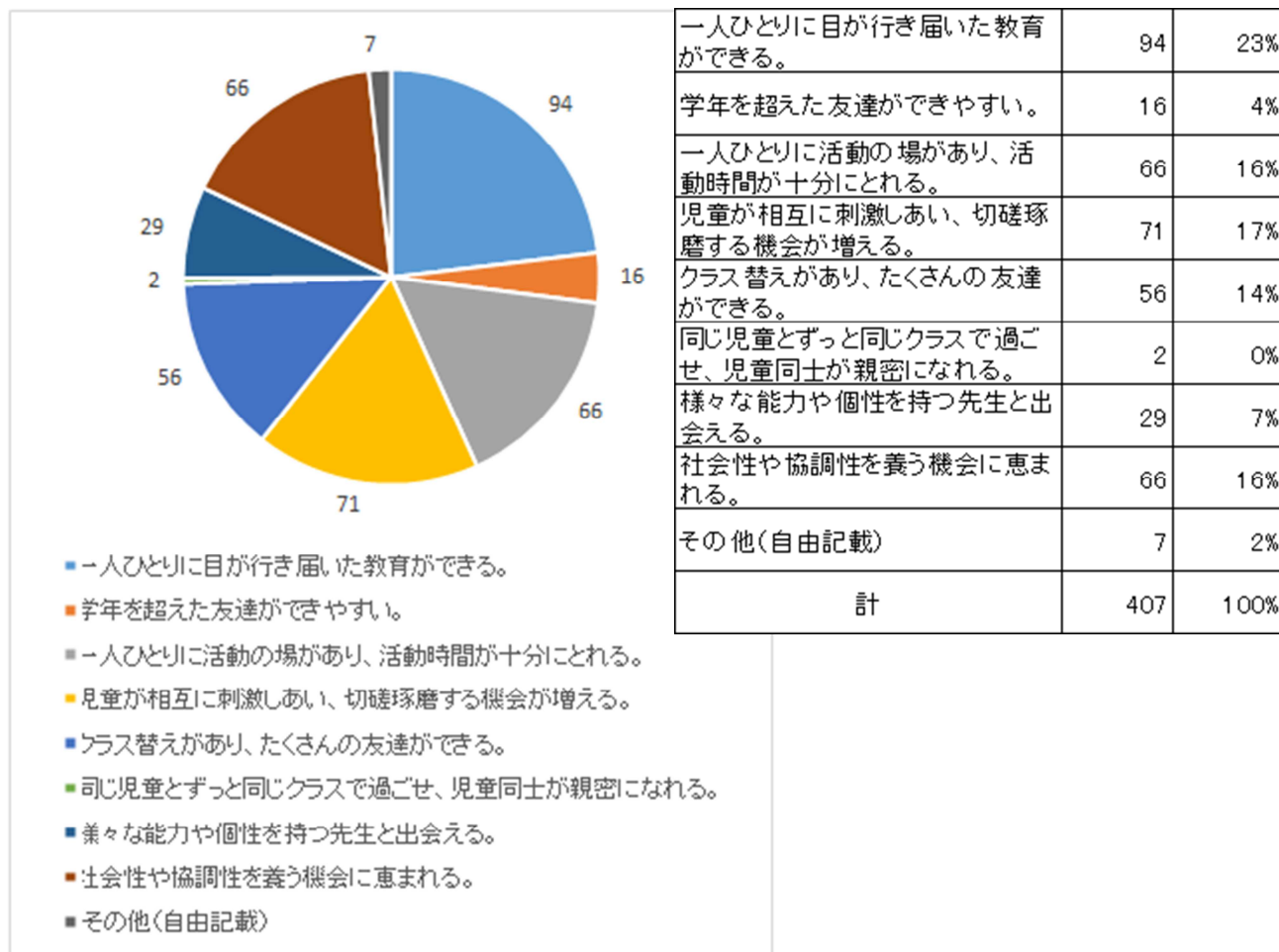
一番回答率が高かったのは「1学年あたり3学級（59%）」でした。二番目に高かった「1学年あたり2学級（29%）」を合計すると、全体の88%を占めます。



問3-2（小学校について）【小学校のみ】

問3-1で選択された学級数の理由を2つお答えください。

一番回答率が高かったのは「一人ひとりに目が行き届いた教育ができる（23%）」で、次に「児童が相互に刺激しあい、切磋琢磨する機会が増える（17%）」「一人ひとりに活動の場があり、活動時間が十分にとれる（16%）」「社会性や協調性を養う機会に恵まれる（16%）」「クラス替えがあり、たくさんの友達ができる（14%）」となっています。



（自由記載）

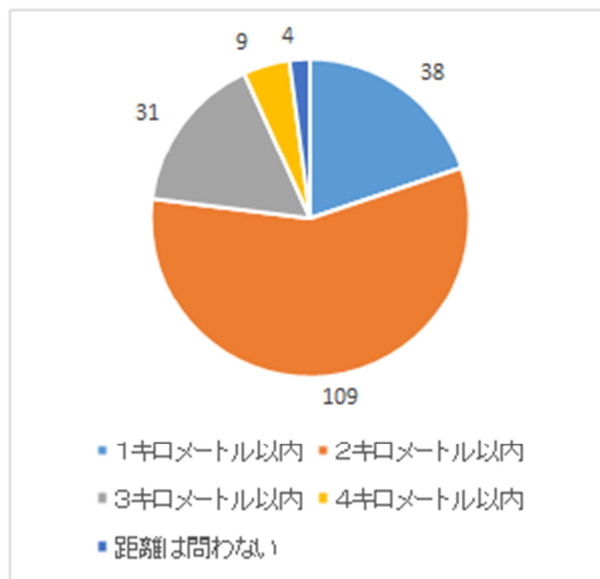
- 複数教員の目で子どもたちを見ることができる。
- 全校人数が少ないことで学年間でも親密になれる。
- 少ない規模がいいと思うが、クラス替えができるというのもいいことだと思う。
- 担任間の連携が取りやすい
- その地域の事情による
- 教員の連携が取り易い
- 学年で足並みを揃えた教育ができる。

問3-3（小学校について）【小学校のみ】

小学校での通学距離について、法令の標準は「おおむね4キロメートル以内であること」「おおむね1時間以内を目安とする」になっていますが、徒歩により、どの程度までが通学可能範囲と思われますか。1つ選択してください。

※徒歩による1kmの所要時間は、おおむね15分前後としています。

一番回答率が高かったのは「2キロメートル以内（57%）」で、次に回答率の高かった「1キロメートル以内（20%）」を合計すると77%でした。

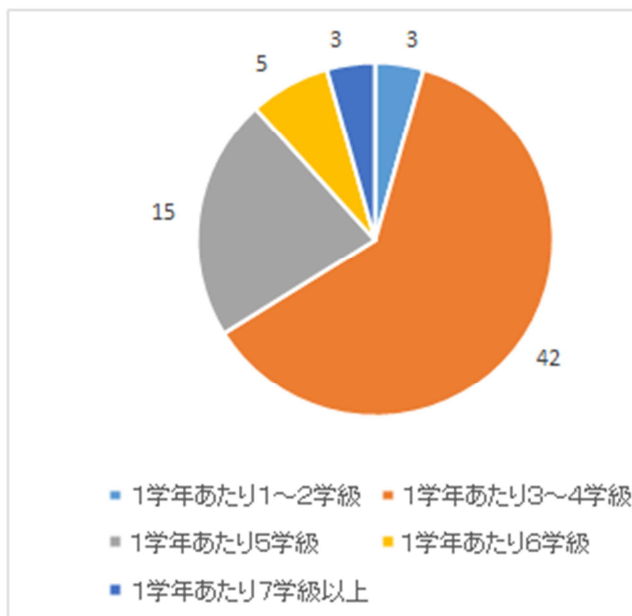


1キロメートル以内	38	20%
2キロメートル以内	109	57%
3キロメートル以内	31	16%
4キロメートル以内	9	5%
距離は問わない	4	2%
計	191	100%

問4-1（中学校について）【中学校のみ】

中学校での学級数について、法令の標準は「1学年あたり4～6学級（1学校あたり12～18学級）」になっていますが、どの程度の学級数が望ましいと思われますか。1つ選択してください。

一番回答率が高かったのは「1学年あたり3～4学級（62%）」でした。二番目に高かった「1学年あたり5学級（22%）」を合計すると、全体の88%を占めます。

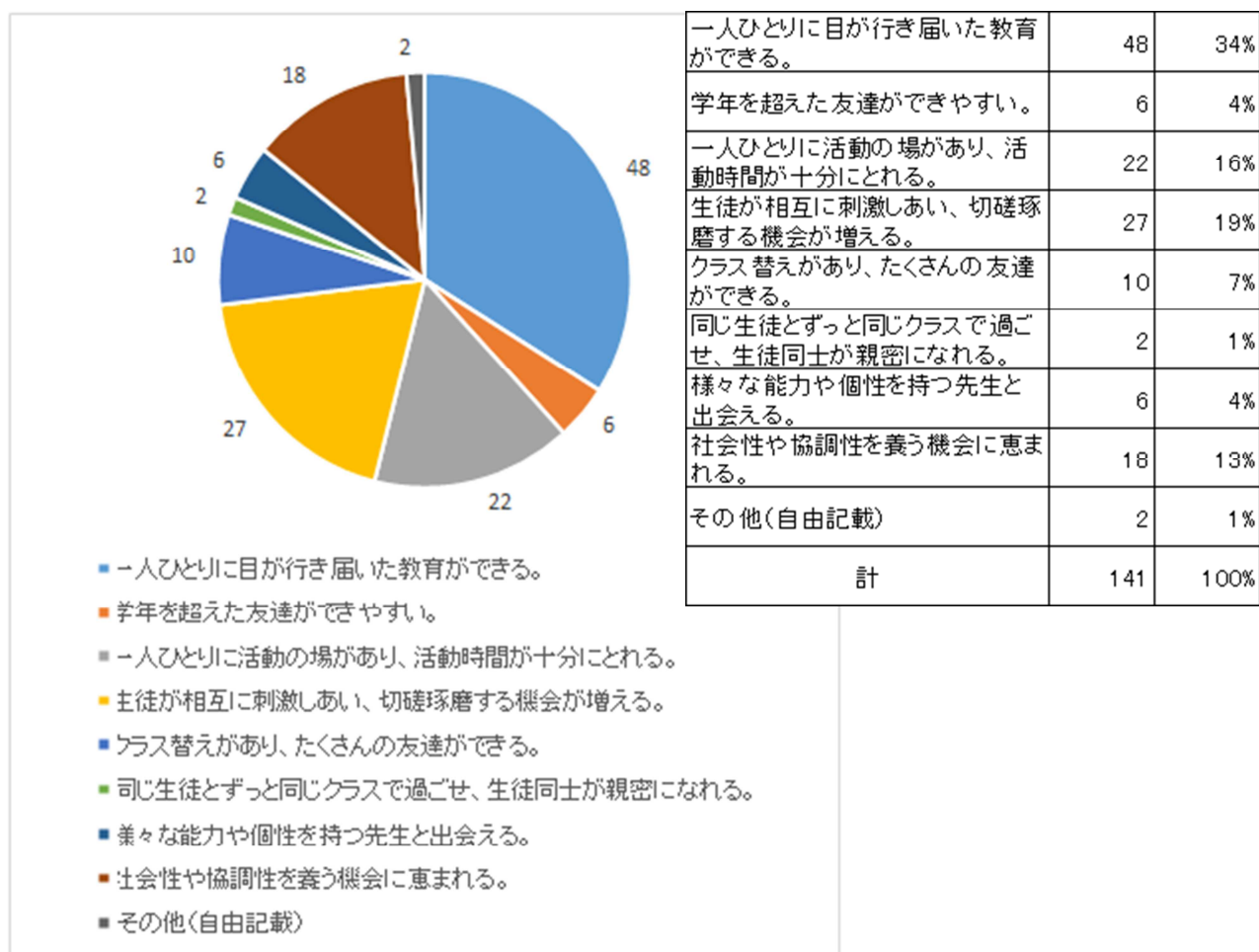


1学年あたり1～2学級	3	4%
1学年あたり3～4学級	42	62%
1学年あたり5学級	15	22%
1学年あたり6学級	5	7%
1学年あたり7学級以上	3	4%
計	68	100%

問4-2（中学校について）【中学校のみ】

問4-1で選択された学級数の理由を2つお答えください。

一番回答率が高かったのは「一人ひとりに目が行き届いた教育ができる（34%）」、次に「生徒が相互に刺激しあい、切磋琢磨する機会が増える（19%）」「一人ひとりに活動の場があり、活動時間が十分にとれる（16%）」「社会性や協調性を養う機会に恵まれる（13%）」となっています。

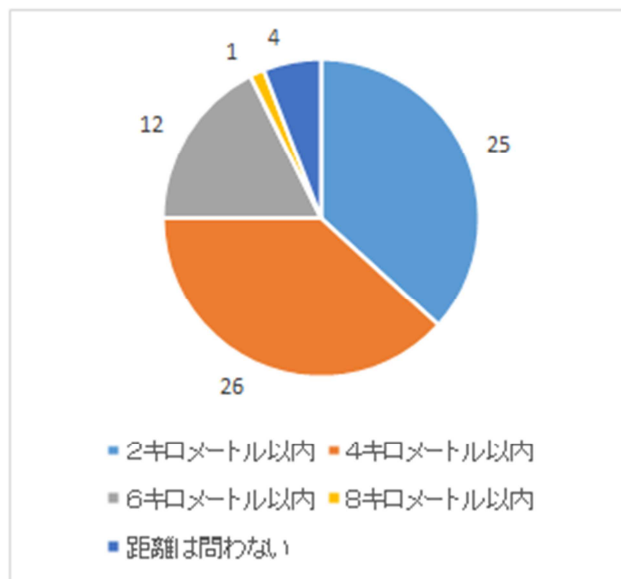


問4-3（中学校について）【中学校のみ】

中学校での通学距離について、法令の標準は「おおむね6キロメートル以内であること」「おおむね1時間以内を目安とする」になっていますが、徒歩や自転車により、どの程度までが通学可能範囲と思われますか。1つ選択してください。

※徒歩による1kmの所要時間は、おおむね15分前後としています。

一番回答率が高かったのは「4キロメートル以内（38%）」で、次に回答率の高かった「2キロメートル以内（37%）」と合計すると75%でした。

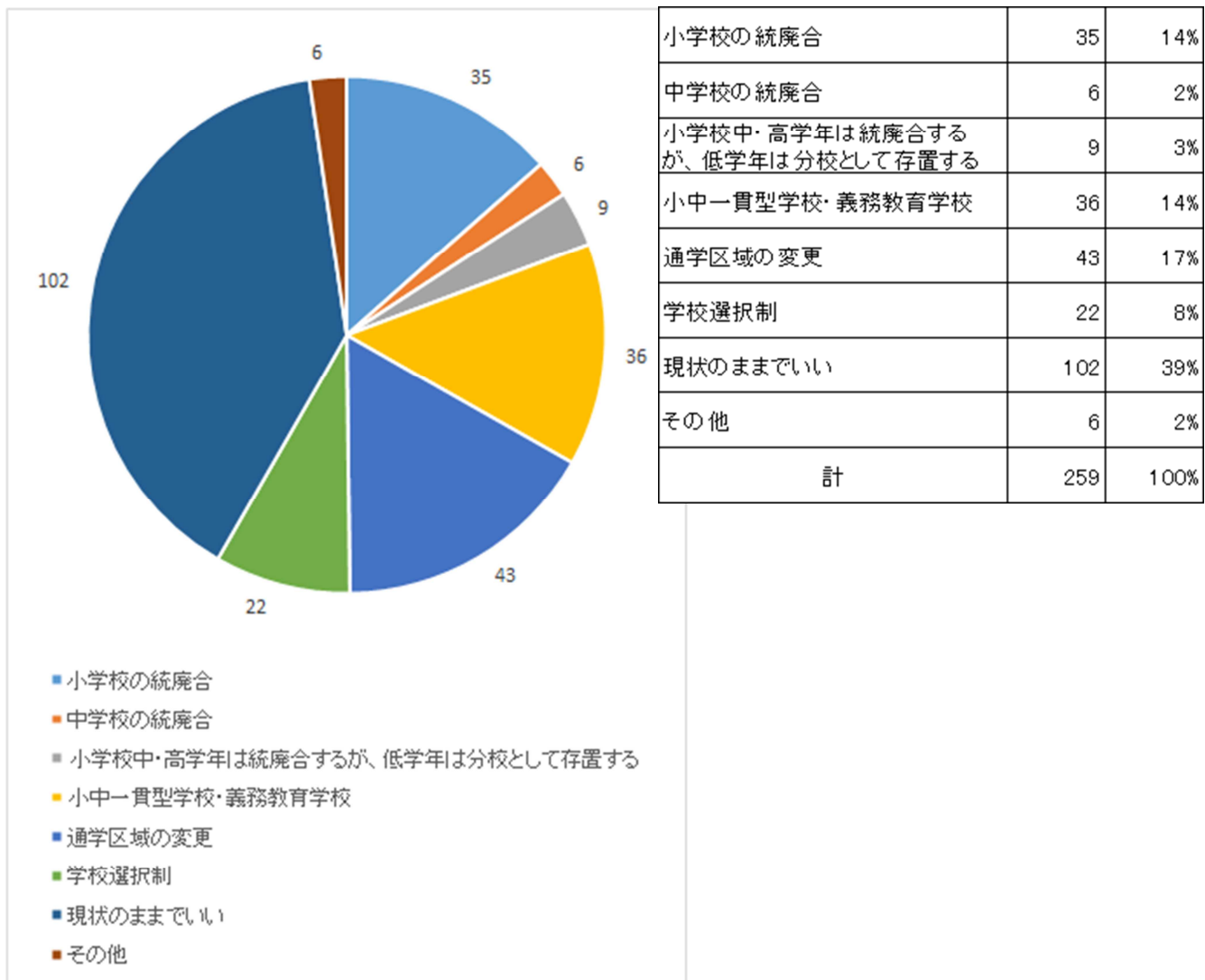


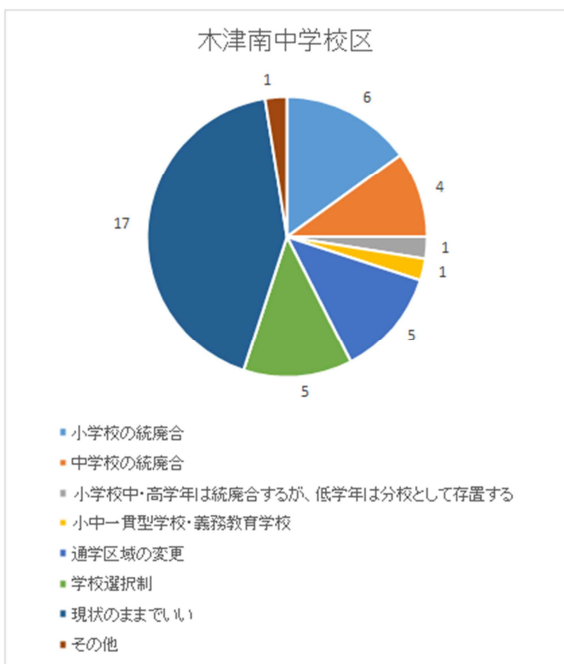
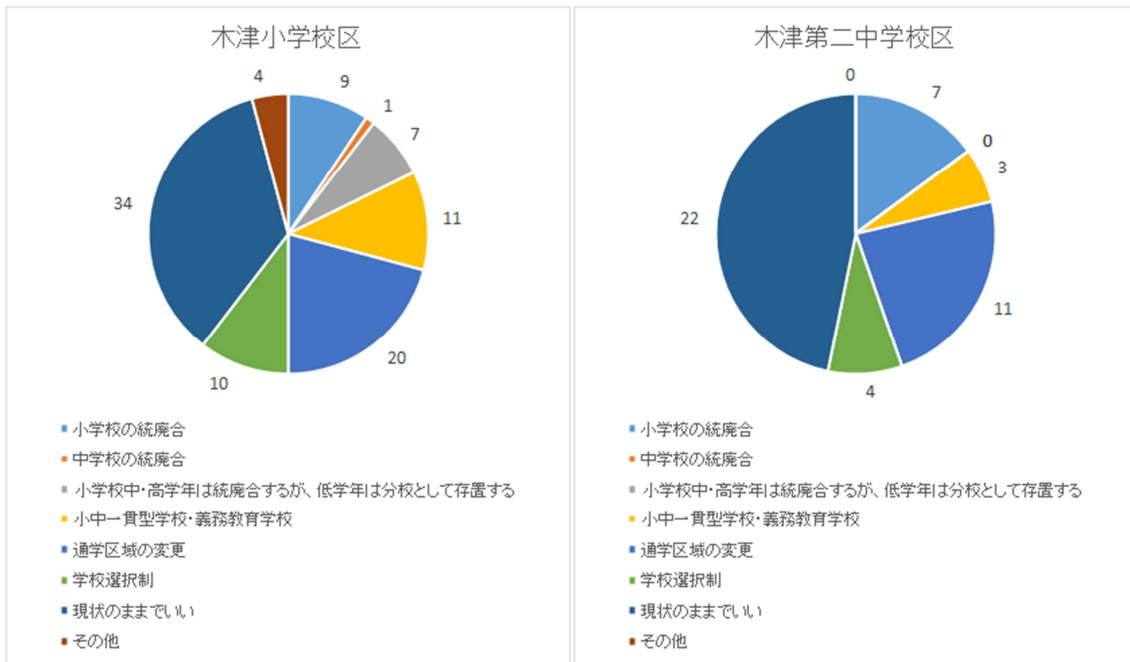
2キロメートル以内	25	37%
4キロメートル以内	26	38%
6キロメートル以内	12	18%
8キロメートル以内	1	1%
距離は問わない	4	6%
計	68	100%

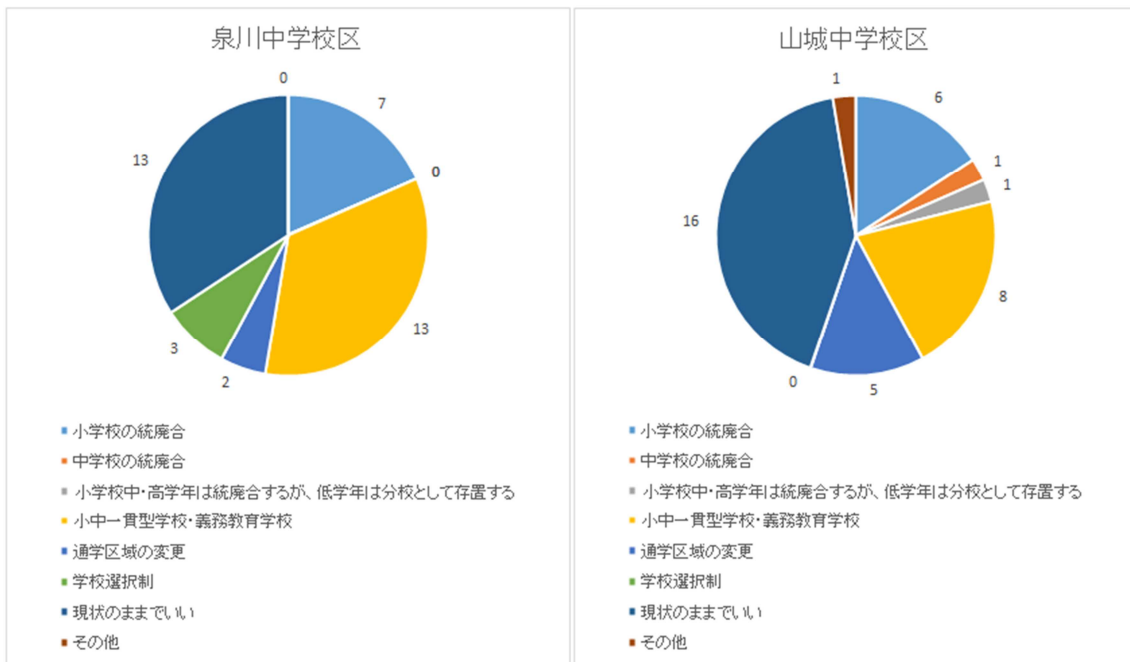
問5-1（学校の規模確保について）

配布している資料にもあるとおり、今後市全体では、児童生徒数の減少が見込まれます。義務教育9年間を通じ、児童生徒一人ひとりの能力・適性等を最大限に伸ばせる学校の規模・配置について、望ましいと考えることを1つ選択してください。

一番回答率が高かったのは「現状のままでいい（39%）」で、次に「通学区域の変更（17%）」「小学校の統廃合（14%）」「小中一貫型学校・義務教育学校（14%）」となっています。







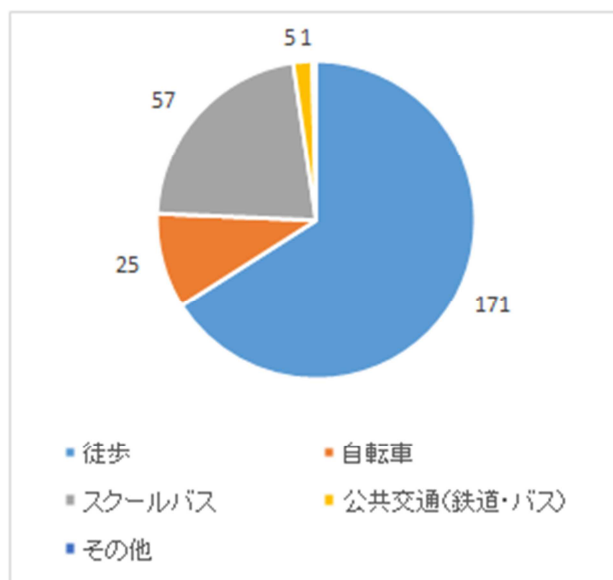
（自由記載）

- 新しい中学校を建てる（子供の数の減少があれば、高齢者施設などとして、併用使用していく）
- 答えがわからない。
- 行政に都市計画ができる優秀な人材を採用するところから。
- 区域を変更したり、逆に城山台や梅見台に学校を増やす等
- 1クラスの児童数を減らす
- 大規模校の分離

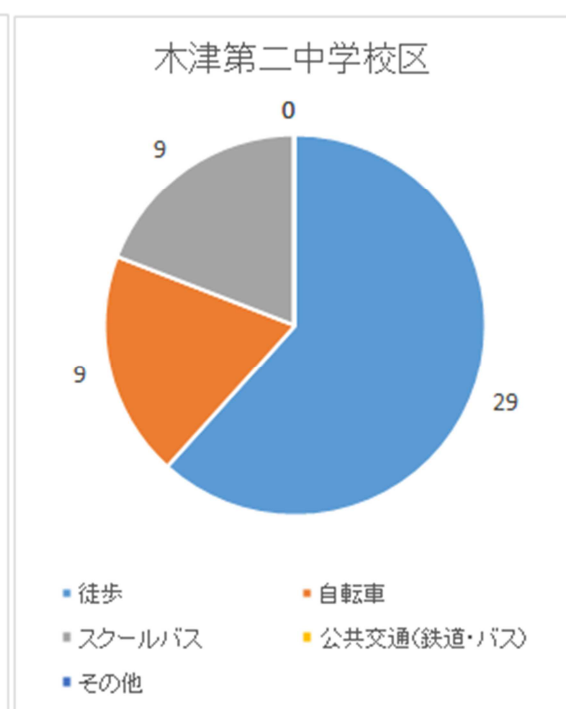
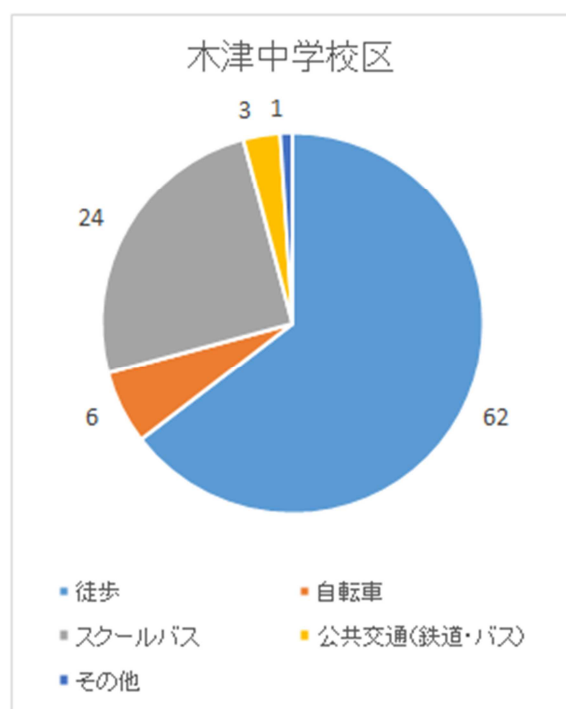
問5-2（学校の規模確保について）

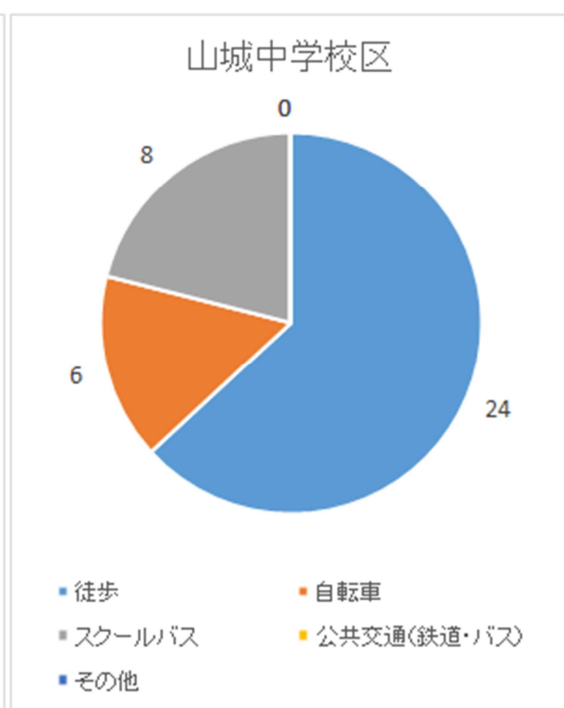
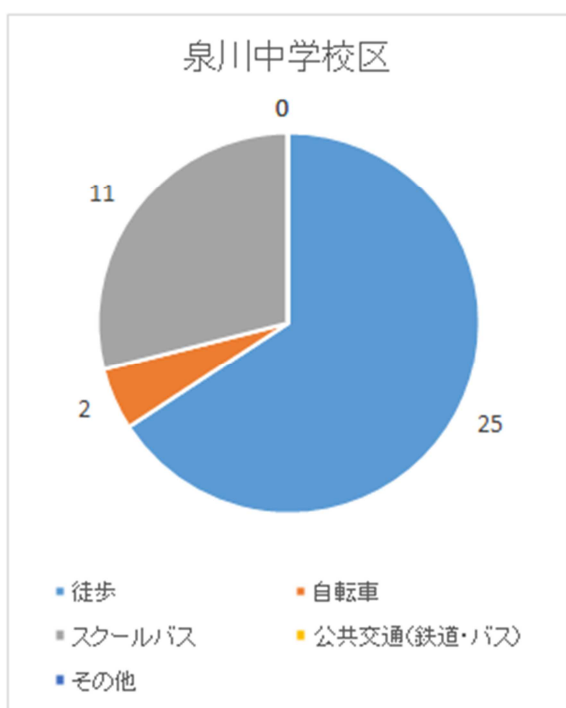
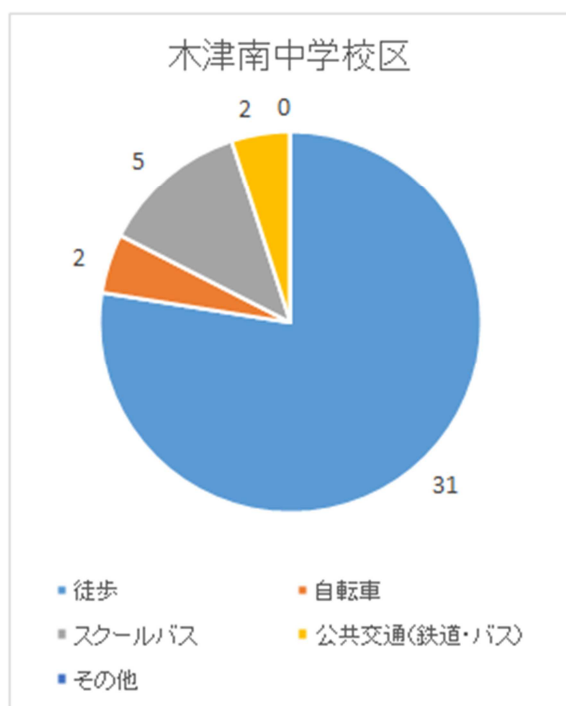
問5-1で選択された学校配置において、主要な通学手段として考えられるものを1つ選択してください。

一番回答率が高かったのは「徒歩（66%）」で、次に「スクールバス（26%）」「自転車（10%）」となっています。



徒歩	171	66%
自転車	25	10%
スクールバス	57	22%
公共交通(鉄道・バス)	5	2%
その他	1	0%
計	259	100%

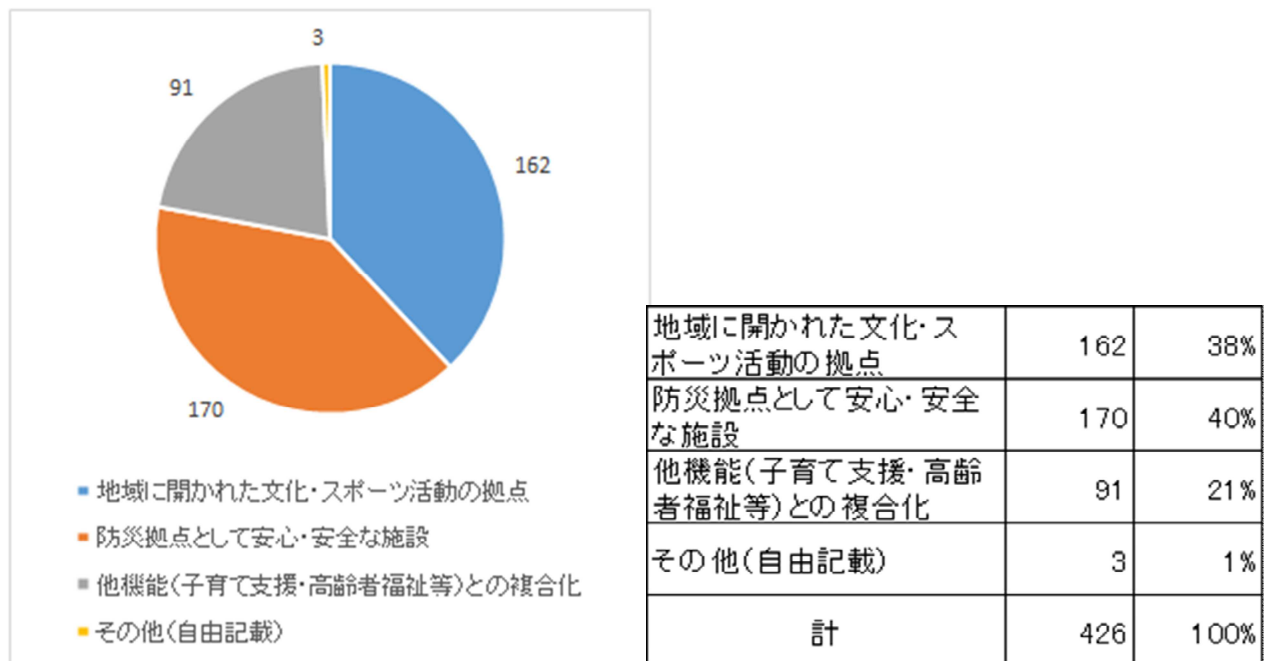




(自由記載)
 ○ 徒歩と自転車

問6 将来的な地域における学校の役割について

市立小中学校は、地域コミュニティの中核としての役割があります。今後に期待する役割・機能について、あなたの考えに近いものを2つ選択してください。



(自由記載)

- ☐ 部活動支援員としての協力依頼
- ☐ 中核とするなら地域連携加配等の人材が必要
- ☐ 現状維持

問7

その他意見があればご記入ください。(最大 100 文字程度)

23件の意見がありました。

- ☐ その他意見があれば入力してください。
- ☐ 生徒数減少の学校は、地域にどんどん開放し、老人福祉施設やスポーツ施設等を併設して、たくさんの世代が交流できるようにすればいい。
- ☐ ICT サポーターの来校頻度や、教員の数を増やさないと来年度以降どの学校もしんどくなってくと思うので、検討お願いします。
- ☐ クラス人数を減らし、雑用を減らし、授業研究や準備の時間を確保すべき。教師が疲弊しているとパフォーマンスがさがり、生徒への対応も丁寧にする余裕がなくなり、保護者からの不信感をうむ、という悪循環になるのでは、と懸念致します。
- ☐ 他の市内の小中学校に比べ、非常に困難な状況あるので、さらなる加配等の人員配置を心からお願いします
- ☐ 学校規模や人数だけで安易に統廃合していくことはどうかと思います。通う子たちにとっては、学校がなくなること、歩いて通えないほど遠くなることは大人が思うよ

りつらいことだと思います。大規模校は適正規模にするなど解決すべき問題だと思いますが、小規模校を合併すべきとは思いません。

○ 部活の顧問のあり方を考えて欲しい。それも含めて今後のあり方を考えて欲しい。土日まで、教員を部活で縛るのはおかしい。

○ 人数が減っていくことは悲しいです。できるだけ人数を確保したい気持ちはありますが、小学校と中学校は別の方がそれぞれの良さが生きると思っています。

○ 小中一貫教育の実現には、互いの教職員が異校種の実情を理解することが前提であると考えます。

○ 公立小中学校は所在する地域の精神的な拠点でもあります。統廃合については地域や識者の声を聞いて慎重に進めてほしいです。

○ 地域の暇を持て余してる人材に対し部活動支援の呼び掛けと採用。情報化社会に対し使える情報機器の整備と資金の投入。

○ ぜひ、管理職だけでなく、現場にいる教職員も議論に参加できる機会があればと思います。未来に向けての希望溢れる話ができれば素敵だなと思います。

○ 法令の標準学級数が2～3学級なのに、城山台小学校は大幅に超えている。学習する共用場所が狭く、学校や職員が時間をかけて工夫されているが、避難が必要な緊急事態など起こった場合、安全面でかなり不安である。また、学級数が増えることで学年での打ち合わせにも時間を要し、教職員の負担がかなり大きい。

○ 目指す生徒象が、年々低くまたは、バラバラになってきている気がする。ただ難なく終わればよいというふうになってきていると思う。

○ 大きすぎて目が届きにくい規模の学校運営は、適切とは、思いにくい。限界を感じます。

○ どの小中学校も少人数学級を推進してほしい。

○ 子どもたちが、のびのび過ごせたらと思います！

○ 人材、備品を多く確保していただきたい。

○ 学校の在り方は、児童数や学校の規模が中心ではなく、子どもにこれからの社会に必要などんな力をつけさせるのか、どんな特色ある教育を進めていくのかが最も大切であり、そのことについて皆さんと意見交流をしていきたい。

○ 900人を超えるのは、規模として不適切だと思います。分校を建てて欲しいです。

○ 大規模でプラスになることは少ないと思います。交わり能力、経験の広さ深さ、教えあい等の点で、少ない方が可能性が高いと考えます。小さい規模で知り合ってゆとりを持って生活をする必要があると考えます。

○ 計画的な宅地開発で、学校規模の適正化を図っていただきたいです

○ 学校のあり方を前向きに考えより良い地域を創っていくことは良いと思います。しかし、その期待によって教師への負担がどれだけ大きくなっていくのか考えていただければと思います。教員にも家族があるため勤務中に作業や準備ができるよう人員数の見直しなどしていただけたらと思います。